



熊本地震による被害の実態と 災害廃棄物処理の現状、 及び地球温暖化対策

無料

平成29年

2/2

14:00 ~ 16:00

震災は、直接的で劇症的な災害で、地球温暖化は、間接的に影響する様々な異常気象による慢性的災害です。病気に例えると突然襲われる発作的な症状が地震であり、高血糖のように様々な病を引き起こすのが地球温暖化と言え、どちらも治療、対策を怠ることはできません。

近年、地震と異常気象は頻繁に発生し、いずれの災害に対しても適応することが求められています。これら適応策は共通する点が多く、そのひとつに長年使用する住宅の耐震化や省エネ化があり、住宅の再興にあたり、その点を認識することが求められています。

本セミナーは、主に熊本地震による災害廃棄物に関する内容ですが、これから加速する住宅の再建に向けた情報やエコに関する情報の提供を合わせて行います。

講師 太田弘巳 氏 熊本県 環境局 循環社会推進課 災害廃棄物処理支援室

田邊陽介 氏 株式会社 環境と開発 代表取締役

日時 平成29年2月2日(木) 受付開始13:30 開演14:00

会場 くまもと森都心プラザ 6F 会議室
熊本市西区春日1丁目14番1号

定員 100名(予約申込順)

主催 NPO法人くまもと温暖化対策センター
(熊本県地球温暖化防止活動推進センター)

共催 一般社団法人 熊本県産業資源循環協会
NPO法人 環境技術協会
NPO法人 九州環境カウンセラー協会

予告
次回セミナーは、スマートハウスやエコハウス、ZEHなどについて予定しています



セミナー申込書

くまもと温暖化対策センター 行

必要事項を下記にご記入の上、FAX、又は下記電話にてお申込み下さい。

FAX : 096-356-4842 E-mail : kuma-ontai@fuga.ocn.ne.jp

氏名		人数	
住所		電話	
Eメール			